

サロンコンサートとウィーンのお話

演奏とお話 李清

ベートーヴェンの弟子の系図



J.Haydn 先生と生徒 (連弾：鈴木幸子)

L.van Beethoven ソナタ「悲愴」から2楽章

Czerny 練習曲30番の1番

ロードウのテーマによる変奏曲 “追想”

F.Liszt リゴレットパラフレーズ



チェルニー

2018.2.18 (日) 14:00 開演 13:45 開場

Le Salon de Clavier

～ニューヨークスタインウェイ・ピアノ/サロン～

全自由席 4,000 円

お問い合わせ：大野みどり 090-4745-9871

大越佳な子 090-2312-4175



リスト



李清 略歴



レツェディツキー

1942年東京に生まれる。日本では属澄江氏に師事。1960年毎日新聞・NHK 共催毎日学生コンクール高校の部全国第1位入賞。1962年ウィーン国立アカデミーに留学。ピアノをサイデルホーファー教授、作曲をアイネム教授に師事。1965年ウィーンにてR.シュテパノウコンクール1位入賞。1969年ピアノ科を優等で卒業。1971年に室内学科を優等で卒業。ヨーロッパ、アメリカ、日本他、世界各地で演奏活動を続ける。レコード、CD等も録音、著書「ウィーンと私」「音楽大使国境を越えて」等。バンムジカ・オーストリア音楽協会会長。「ウィーン音楽コンクール イン ジャパン」「ウィーンピアニストコンクール」主催者。1995年その音楽活動における功績に対し、ウィーン州より「金功労賞」、また1997年にはオーストリア政府より「オーストリア科学・芸術功労十字章」を叙勲。オーストリア・グラーツ国立音楽大学ピアノ本科元教授。

演奏と教授としての活動等

オーストリアに55年余在住。そのうち10年に亘るウィーンにおける留学生としての生活。東洋人としてオーストリアの音楽大学に初めて迎えられてから、その後の40年に渡るグラーツ国立音楽大学での後進の指導では、ウィーンで学んだ古い伝統を後進の若い学生やピアニスト達に残すべく、主に日本とオーストリアで活躍。ウィーンを初め、ヨーロッパ各地、アメリカそしてアジア諸国などでのリサイタルや放送局での演奏活動。ウィーンのみならず、ウィーン・トーン・キュンストラ・オーケストラにソリストとして迎えられてのコンチェルトの協演や日本やオーストリア各地でのオーケストラとの協演等。故人となった世界的なピアニスト、バックハウスやルービンシュタイン、そしてヴァイオリニストのダヴィッド・オイストラフやハイフェッツ等の著名な演奏家の演奏を生で聴いた貴重な体験を持つ。毎年の様にウィーンでモーツァルトのコンチェルトをオーケストラ、そしてカルテットと共演するチャリティーコンサートを開催、現地の「赤十字社」と「国境なき医師団」にその収益を寄付。



シュミット



サイテルホーファー

チェルニーはオーストリア人。リストはハンガリーに生まれる。レツェディツキーはポーランド生まれ。シュミットはスロヴァキア生まれ。サイテルホーファーはウィーンに生まれる。これらの国のうちポーランド以外はハプスブルグ帝国に含まれる。ハプスブルグ帝国は1526年から1918年。